

旧横浜正金銀行神戸支店

登録文化財

設計: 桜井小太郎建築事務所

竣工: 昭和10年(1935)

住所: 兵庫県神戸市中央区京町24

交通: JR・阪急・阪神三宮駅徒歩10分



旧居留地のほぼ中心点に位置し、神戸地区に現存するレトロ建物の中では最大級の威容を誇る。設計者の桜井小太郎は丸ビルなどの多くのオフィスビルを手がけている。

鉄筋コンクリート造りを御影石張りで仕上げ、ギリシャ神殿を思わせる外観としている。東面(写真の右手)と南面(写真の左手)とで柱のデザインが異なる点にも注目されたい。

最初は横浜正金銀行神戸支店、戦後は東京銀行神戸支店、そして昭和57年(1982)に神戸市に譲与され、神戸市立博物館として生まれ変わった。関東地方・近畿地方のそれぞれの代表的貿易港、横浜と神戸の双方において、同一銀行の店舗がともに公立博物館として第三の人生を歩んでいるわけである。

阪神大震災により損傷を受けたが、修復に成功し、現在に至っている。

平成10年(1998)3月、登録文化財の指定を受けた。

この文書の著作権は株式会社富士通アドバンスソリューションズが保有します。許可なく複製、転用、販売などの二次利用することは禁じます。

雑誌書籍、広告など出版物への掲載にあたっては、お手数ですが、事前にご連絡願います。